

国際高等研究所 研究プロジェクト
「設計哲学－俯瞰的価値理解に基づく人工財の創出と活用による持続可能社会を目指して」
2014年度第2回（通算第2回）研究会プログラム

日 時：2014年12月 5日（金） 13：30～17：30

12月 6日（土） 9：30～12：00

場 所：国際高等研究所 セミナー2号室（2F）（12月5日）

国際高等研究所 セミナー1号室（1F）（12月6日）

出席者：（8人）

研究代表者 梅田 靖 東京大学大学院工学系研究科教授

参加研究者 岩田 一明 大阪大学名誉教授

思沁夫 大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授

** 住村 欣範 大阪大学グローバルコラボレーションセンター准教授
（人間科学研究科兼任）

服部 高宏 京都大学国際高等教育院教授

RA 長谷川みゆき 大阪大学大学院医学系研究科博士課程

** スピーカー

話題提供者（ゲストスピーカー）

* Nguyen Van Cong ベトナムカントー大学 環境/天然資源学部副学部長

<*> 招聘講演者

その他参加者

土屋 和雄 国際高等研究所研究推進委員・京都大学名誉教授

趣旨

第二回は、第一回に続き、発展途上国が抱える問題をテーマに、討論を進める。具体的には、途上国で用いられる技術がおかれているコンテキストの複合性とそれを俯瞰する価値とは何かということについて議論を行いたい。

①住村欣範委員の話題提供では、JST/JICA が提供する地球規模課題対応国際科学技術協力の枠組みで、現在、実施中および申請中の事例を用いて、日本が途上国に対して開発・提供しようとする技術と、途上国の問題が存在しているコンテキストの位相のずれについて、考えたい。

②グエン・ヴァン・コン副教授（カントー大学・環境天然資源学部福学部長）の話題提供では、カントー大学に対して来年度から日本のODA支援が行われようとする中で、メコンデルタの人々が求める技術について問い、日本の視点を相対化する。また、可能であれば、ともに「俯瞰的価値」のありかについても議論を行いたい。

プログラム

12月5日(金)

13:30 - 17:30 研究会
・話題提供
「複合的コンテキストにおける適正技術：SATREPSの事例から」
住村欣範 大阪大学グローバルコラボレーションセンター准教授
・討論

17:30 - 懇親会 (高等研コミュニティホールにて)

12月6日(土)

9:30 - 11:30 研究会
・話題提供「メコンデルタに必要な科学技術とは」
*グエン・ヴァン・コン 副教授
ベトナムカントー大学・環境天然資源学部副学部長
・グローバルとローカルな視点に基づいた「適正技術」をテーマに
全体討論

※英語での発表、ディスカッションの際には必要に応じて
日本語-ベトナム語での通訳も可

11:00 - 12:00 昼食

12:00 研究会終了